

本県を取り巻く社会経済情勢の主な状況

1 社会環境の変化 ⇒ 【1】【2】【3】に関連

- 県内大学等卒業者の転出超過（宮城労働局「令和8年3月新規大卒者等の就職状況」）
○県外就職率58.3% 県内就職率41.7%
- 人口の減少（県統計課「令和7年度統計年鑑(住民基本台帳に基づく人口移動)」）
○自然増減数 R2: △10,166人→R6: △17,526人
○社会増減数 R2: △ 113人→R6: 115人
○人口増減数 R2: △10,279人→R6: △17,411人
- 高齢化率の上昇（県長寿社会政策課「宮城県高齢者人口調査」）
○65歳以上の割合 R2: 27.9%→R8: 30.1%
- 外国人人口の増加（県統計課「宮城県の住民基本台帳年報」）
○人口 R2: 22,544人→R6: 29,286人
- デジタル化の推進（県総合政策課、デジタルみやぎ推進課）
○R2.9「みやぎデジタルファースト宣言」
○R7.4「みやぎDX推進ポリシー(2025～2027)施行開始

2 労働力需給の動向 ⇒ 【1】【3】に関連

- 業種による求人・求職ミスマッチ（宮城労働局「求人・求職バランスシート(令和8年4月)」）
○有効求人倍率 生産工程従事者: 1.51倍 事務従事者: 0.33倍
- 新規学卒者の早期離職率の高止まり（厚生労働省「新規学卒者の離職状況」）
○R4.3卒3年以内離職率(全国): 高卒37.9% 大卒33.8%
- 転職者数の増加（総務省統計局「労働力調査」全国・年平均）
○R2: 321万人→R7: 330万人
- 県内の外国人労働者数の増加（宮城労働局「外国人雇用状況」の届出状況のまとめ）
○R2.10月: 13,797人(うち製造業4,365人)→R7.10月: 20,234人(うち製造業5,958人)
- 外国人育成就労制度の施行(R9.4月から)

3 経済・産業 ⇒ 【1】に関連

- 製造業の県内総生産額(名目)が減少（県統計課「令和5年度宮城県県民経済計算年報」）
○製造業R2: 1兆5,703億円→R5: 1兆5,369億円
- 製造品出荷額等の増加（県統計課「R2年度宮城県の工業」、総務省「経済構造実態調査」）
○製造業出荷額等R2: 4兆3,580億円→R6: 5兆4,693億円
- 企業における教育訓練費（厚生労働省:「令和6年度能力開発基本調査」）
○OFF-JTIに支出した費用の労働者一人当たり平均額(全国)
R2: 1.5万円→R6: 1.5万円

4 技能の継承と振興 ⇒ 【4】に関連

- 若年者の「ものづくり離れ」

国の第12次職業能力開発基本計画

方向性と基本的施策1

今後求められるスキルの変化に対応した戦略的な職業能力開発支援の推進

⇒ 【1】【2】に関連

- 産業界・地域・成長分野等における人材ニーズ等を踏まえた戦略的な職業能力開発の推進

- 民間教育訓練機関が提供する職業訓練の質の確保・向上

方向性と基本的施策2

労働市場でのスキル等の見える化の促進 ⇒ 【1】【3】に関連

- 労働市場におけるスキルの標準化と見える化
- 企業の職業能力開発に関する情報の発信等

方向性と基本的施策3

個人のキャリア形成と職業能力開発支援の充実 ⇒ 【2】に関連

- キャリア意識の醸成とキャリア形成支援
- 個人の職業能力開発支援

方向性と基本的施策4

企業の職業能力開発への支援の充実 ⇒ 【1】【2】に関連

- DX関連を含めた職業能力開発の充実のための環境整備
- 中小企業に対する人材育成の支援

方向性と基本的施策5

多様な労働者の能力発揮に向けた職業能力開発の推進 ⇒ 【3】に関連

- 非正規雇用労働者への支援
- 中高年労働者への支援
- 若者への支援、女性への支援、障害者への支援
- 就職やキャリアアップに特別な支援を要する方への支援
- 外国人への支援
- 現場人材のスキル向上と人材確保のための環境整備

方向性と基本的施策6 ⇒ 【4】に関連

技能五輪国際大会を契機とした技能の振興

方向性と基本的施策7

職業能力開発分野の国際連携・協力の推進

新・宮城の将来ビジョン

■県政運営の理念と基本姿勢

- 富県躍進！“PROGRESS Miyagi”
～多様な主体との連携による活力ある宮城を目指して～
- 政策推進に向けた横断的視点
【「人」づくり「地域」づくり「イノベーション」】
- 政策推進の基本方向1
・産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

■取組4 時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備

【現状と課題】

- 県内大学等卒業者の半数以上が県外に就職、企業の深刻な人手・後継者不足が課題。
- 将来を見据え、様々な環境の変化に対応できる人材の育成が求められる。経営感覚を有する事業者の育成や支援を通じ、地域経済の持続的な成長の促進が求められる。

■取組10 就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進

【現状と課題】

- 女性の活躍に向けた取組が進んでいないと考えている企業が多く存在することや、高齢者就業割合が全国的に低位にあること、障害者雇用では法定雇用率を達成していないことなどから、性別、年齢、障害の有無国籍等あらゆる状況に応じた雇用環境の整備が求められる。

【本県の職業能力開発における着眼点】

富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進
や地域のニーズを捉えた産業人材の育成・確保
を図る必要がある。

デジタル化の進展や今後の急速な産業構造の
変化に対応できる専門性や創造性などを持つ産業
人材を育成する必要がある。

少子化の進展など労働人口の減少が進む中で、
多様な労働者の能力発揮、生産性・処遇向上へ
向けた職業能力の開発を行う必要がある。また、
多様化する労働者の働く意識の変化に対応する
職業能力開発等を行う必要がある。

熟練技能者の高齢化や若者のものづくり離れが
みられる中、長年培われた技術・技能を若者に継
承していくことや技能労働者の地位向上のため、
技能振興を進める必要がある。

【本県の基本的方向性について(案)】

【1】県内産業の持続的な成長を支える
産業人材の育成の推進

- 施策
- 地域産業・成長分野を支える人材の育成・確保
 - 地域のニーズを捉えた公的職業訓練の実施
 - 企業・業界団体等の連携・共同による人材育成の推進
 - 現場人材の育成・確保

【2】時代や産業構造の変化に対応できる
産業人材の育成

- 施策
- 今後求められるスキルの変化に対応した人材育成
 - デジタル化や技術革新等に対応できる人材の育成
 - 労働者の自律的・主体的なキャリア形成、リスキリング支援

【3】県民一人ひとりが活躍できる
職業能力開発の充実

- 施策
- 非正規雇用労働者への支援
 - 中高年労働者への支援
 - 若者、女性、障害者への支援
 - 就職やキャリアアップに特別な支援を要する方への支援
 - 外国人労働者への支援

【4】技能の継承と振興

- 施策
- 技能の評価と卓越した技術・技能継承の支援
 - 技能尊重気運の醸成